

FOCUS

追いかける。大学生。



和歌山大

FORWARD

被災地支援から変革

和歌山大のボランティア団体「FORWARD（フォワード）」。「昨年結成したばかりの団体だが、すでに2つの大災害での支援活動を経験。活動に一区切りがついた今、彼らが目指すのはこれから起こりうる災害に向けての支援なのだという。

『何考えてるんだろう』って感じながらも、うちの活動の区切りになればと思うって」。代表の中村勇太郎さん（和歌山大・2年）は苦笑しつつも嬉しそうだ。フォワードは、京都産業会館（下京区）で10月14日に開催された「第2回関西学生サミット」に和歌山から参加。「Remember 11」と題し、昨年8月、9月に行った東日本大震災、和歌山県台風12号の支援活動を収めた写真をブースに貼りだした。コーナーごとには一言テーマも添えられるなど、そこにいた人々の息遣いを想起させる。



フォワードは2011年7月、中村さんを含めた和歌山大の院生と学部生あわせて3人で結成した比較的新しい団体。同年3月11日の東日本大震災の惨状を目の当たりにし、この震災から生かせるものはないかと悩み抜いたという。その結果、「継続的支援の基盤を作り出していこう」との結論に至り、設立された。

防災事業の「前方へ」

団体が最初に取り組んだのが、東日本大震災の被災地へ向けた、和歌山大からのボランティアバス派遣の要請。団体発足前の6月から学校への熱心なアプローチを繰り返して、「学生主体の大学ボランティアバス派遣」が実現した。フォワード以外の学生も交えたチームは若手県田野畑村に訪れ、初めて実際のボ

ランティアを体験。後のフォワードの活動の一環にもなった、汚れた写真の復元技術などを学んだ。中村さんは「災害ボランティアというものがなかった和歌山大の中で、それをリードするようなことができたのは、良かったんじゃないかと思う」と、活動を回想する。

活動も基盤に乗りつつあった9月、和歌山県を台風12号が直撃。フォワードは、急ぎよボランティアを募り、自衛隊よりも先に被害の大きかった新宮市熊野川町を訪問。結成時の理念通り、田辺市中辺路町近露の空き家を拠点とし、家財の搬送作業などを手伝った。災害発生後すぐに現地入りしたこともあり、時には被災地の様子に心が折れそうになったこともあったという。しかし、チームは大学の後期日程が始まる10月まで、交代制を取りながら拠点に常駐。それ以降も、東日本のボランティアで培った写真復元技術を用いて、台風被災者の「思い出」の復元を行うなど、支援活動に奔走した。

思わぬ災害による、激動の1年をくぐり抜けたフォワード。今後も継続支援を行いつつ、見据えているのは、今後起こりうる未来の災害。それが「東日本大震災の教訓が



FORWARD
rom akayama

和歌山大「FORWARD」
HP : <http://forward311.org/>
Mail : forward311@gmail.com

ら、東海・東南海・南海3連動地震での被災者を0にする」というもの。「1年生部員が加入し、規模は15人まで拡大した。この調子で、まずは来る震災の時まで団体を保ち、震災時には皆の前に立って活動できるような団体になれば嬉しい」と中村さん。フォワードは少しずつ、だが確実に「前方へ」進んでいる。

UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>
共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F
(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUSは
神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部
関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部
の共同編集による週刊フリーペーパーです